

# 令和3年度シラバス (教科・科目：商業・簿記)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前	4	選択

教科書	学習書・他教材
『新簿記 (実教出版)』	

学習目標
簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。

学習項目	学習内容	試験範囲
第1編 簿記の基礎	1. 企業の基礎 2. 資産・負債・純資産と貸借対照表 3. 収益・費用と損益計算書 4. 取引と勘定 5. 仕訳と転記 6. 仕訳帳と総勘定元帳 7. 試算表 8. 精算表 9. 決算	前期中間考査  前期期末考査
第2編 取引の記帳	10. 現金・預金などの取引 11. 商品売買の取引 12. 掛け取引 13. 手形の取引 14. 有価証券の取引 15. その他の債権・債務の取引 16. 固定資産の取引 17. 個人企業の資本金の取引 18. 販売費及び一般管理費と税金の取引	後期中間考査
第3編 決算	19. 決算整理 20. 8桁精算表 21. 帳簿決算と財務諸表の作成	後期期末考査
第4編 会計帳簿と帳簿組織	22. 会計帳簿 23. 伝票	

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
② 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 技能	④ 知識・理解
企業における取引を、帳簿に記録・計算・整理する技術である簿記に関心をもち、学習に自分からすすんで取り組もうとする。	企業における取引を簿記特有のルールから思考し、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付けしようとする。	企業における取引を合理的、能率的に記録・計算・整理する。	簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、簿記一巡の手続きを理解している。
総合的評価規準 以上の観点を踏まえ、定期考査、単元小テスト、授業の取り組み（態度、提出物、課題等）等から評価します。			

授業の進め方、課題・提出物など
<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、問題集、プリントを使って進めていきます。</li> <li>授業時に課題を出します。</li> </ul>

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記は、今後自分が所属する企業の経営・財務状態を把握する上で大変有益です。最初は難しく感じるかもしれませんが、分かるとそれほど難解ではありません。がんばりましょう。</li> </ul>

